

宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2021年10月～12月期

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 県下産業全体の景況 | 2 |
| (1) 主要景況項目のあらまし | 2 |
| (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし | 3 |
| (3) 今後の見通しについて | 4 |
| 2. 県下産業別の景況 | 5 |
| (1) 製造業の動向 | 5 |
| (2) 建設業の動向 | 8 |
| (3) 小売業の動向 | 11 |
| (4) サービス業の動向 | 14 |

2022年1月

宮城県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

2021年10月～12月

[調査要領]

1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、
利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、
遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、
石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 150企業

2. 調査対象期間

2021年10月～12月期を対象として、調査時点は2021年11月15日とした。

3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

4. 回答企業内訳

| 業 種 | 企 業 数 |
|-------|-------|
| 製 造 業 | 33 |
| 建 設 業 | 25 |
| 小 売 業 | 44 |
| サービス業 | 48 |
| 合 計 | 150 |

5. そ の 他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

1. 県下産業全体の景況

(1) 主要景況項目のあらまし

① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2021年10月～12月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より12.9ポイントの改善で△34.0(前期△46.9)となった。産業別では、製造業が△39.4(前期△35.4)と△4.0ポイント悪化、建設業では△20.0(前期△34.6)と14.6ポイント改善、小売業も△53.6(前期△70.8)と17.2ポイント改善、サービス業でも△20.9(前期△40.4)と19.5ポイントの改善となった。

来期見通しでは、産業全体(全産業)として改善の見通しである。産業別では、製造業で改善、建設業では横ばい、小売業、サービス業でも改善の見通しである。

表一 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

| 業種 | 前期 | 今期 | 来期見通し |
|-------|--------|--------|--------|
| 全産業 | △ 46.9 | △ 34.0 | △ 26.5 |
| 製造業 | △ 35.4 | △ 39.4 | △ 28.1 |
| 建設業 | △ 34.6 | △ 20.0 | △ 20.0 |
| 小売業 | △ 70.8 | △ 53.6 | △ 42.8 |
| サービス業 | △ 40.4 | △ 20.9 | △ 14.6 |

② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業が12.1%で前期比5.8ポイント増加、建設業は0.0%と前期比△7.7ポイント減少、小売業では9.1%で前期と同じ横ばい、サービス業では10.4%と前期比△8.7ポイントの減少であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業で減少、建設業で増加、小売業で横ばい、サービス業では増加となっている。

表二 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

| 業種 | 前期 | 今期 | 来期計画 |
|-------|------|------|------|
| 製造業 | 6.3 | 12.1 | 6.1 |
| 建設業 | 7.7 | 0.0 | 20.0 |
| 小売業 | 9.1 | 9.1 | 9.1 |
| サービス業 | 19.1 | 10.4 | 16.7 |

(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

① 売上額（完成工事額）

2021年12月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（DI）は前期(2021年9月調査)と比較して、「製造業が2ポイント改善のマイナス1、非製造業は6ポイント改善のマイナス4だった。先行きは製造業で今期と同じ横ばい、非製造業では今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）DIは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業、小売業、サービス業で改善、建設業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額DI比較では、製造業・建設業・小売業で全国・東北以下、サービス業では全国・東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・DI)

| 区分 業種 | 全 国 | | 東 北 | | 宮 城 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 前 期 | 今 期 | 前 期 | 今 期 | 前 期 | 今 期 |
| 製 造 業 | △ 12.6 | △ 8.3 | △ 13.0 | △ 13.1 | △ 34.4 | △ 33.3 |
| 建 設 業 | △ 18.0 | △ 16.3 | △ 18.5 | △ 17.8 | △ 34.6 | △ 36.0 |
| 小 売 業 | △ 42.9 | △ 34.4 | △ 54.7 | △ 44.1 | △ 75.0 | △ 45.5 |
| サービス業 | △ 41.3 | △ 26.3 | △ 45.6 | △ 29.1 | △ 42.5 | △ 20.9 |

② 採 算

宮城の今期の採算DIも、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業で悪化、建設業・小売業・サービス業では改善となった。

今期の宮城の全国・東北との採算DI比較でも、製造業・建設業・小売業で全国・東北以下、サービス業では全国・東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・DI)

| 区分 業種 | 全 国 | | 東 北 | | 宮 城 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 前 期 | 今 期 | 前 期 | 今 期 | 前 期 | 今 期 |
| 製 造 業 | △ 23.2 | △ 20.3 | △ 20.7 | △ 26.3 | △ 31.2 | △ 39.4 |
| 建 設 業 | △ 26.2 | △ 24.4 | △ 32.1 | △ 27.2 | △ 50.0 | △ 36.0 |
| 小 売 業 | △ 44.0 | △ 41.0 | △ 57.3 | △ 49.7 | △ 69.8 | △ 53.5 |
| サービス業 | △ 41.8 | △ 32.2 | △ 44.4 | △ 39.8 | △ 38.3 | △ 29.2 |

(3) 今後の見通しについて

① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2022年1月～3月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で6.0ポイント改善、建設業で4.0ポイント改善、小売業で22.8ポイント改善、サービス業でも20.9ポイント改善の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでも、今期状況D Iとの比較で、製造業で12.2ポイント改善、建設業で4.0ポイント改善、小売業で11.7ポイント改善、サービス業でも10.4ポイント改善の見通しとなった。

② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国・宮城共に改善、採算でも全国・宮城で共に改善の見通しとなった。建設業では売上は全国で悪化、宮城で改善、採算でも全国で悪化、宮城で改善の見通しとなった。小売業では売上が全国・宮城で共に改善、採算でも全国・宮城で共に改善の見通しとなった。サービス業でも、売上が全国・宮城で共に改善、採算でも全国・宮城で共に改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

| 区分 業種 | 全 国 | | 宮 城 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| | 今期状況 | 来期見通し | 今期状況 | 来期見通し |
| 製造業 | △ 8.3 | △ 2.8 | △ 33.3 | △ 27.3 |
| 建設業 | △ 16.3 | △ 21.3 | △ 36.0 | △ 32.0 |
| 小売業 | △ 34.4 | △ 23.5 | △ 45.5 | △ 22.7 |
| サービス業 | △ 26.3 | △ 5.7 | △ 20.9 | 0.0 |

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

| 区分 業種 | 全 国 | | 宮 城 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| | 今期状況 | 来期見通し | 今期状況 | 来期見通し |
| 製造業 | △ 20.3 | △ 15.8 | △ 39.4 | △ 27.2 |
| 建設業 | △ 24.4 | △ 25.6 | △ 36.0 | △ 32.0 |
| 小売業 | △ 41.0 | △ 33.1 | △ 53.5 | △ 41.8 |
| サービス業 | △ 32.2 | △ 20.8 | △ 29.2 | △ 18.8 |

2. 県下産業別の景況

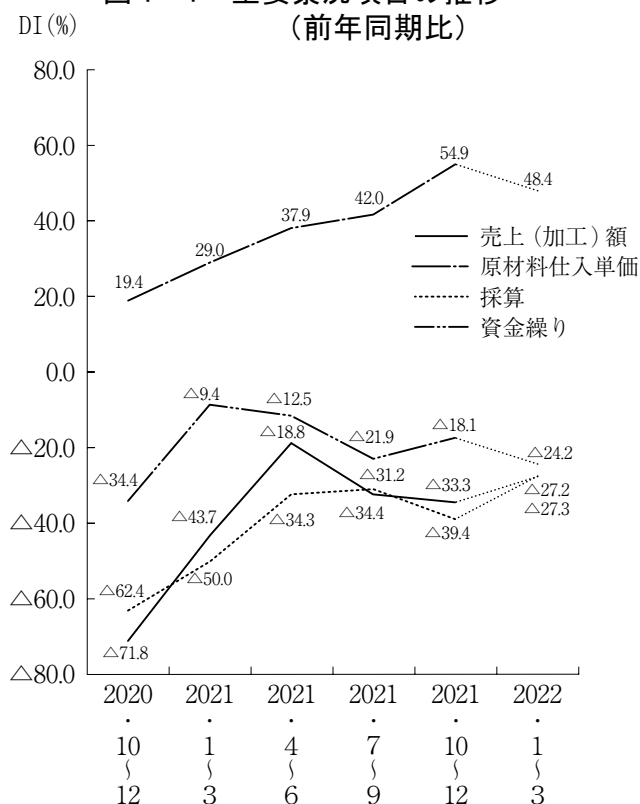
(1) 製造業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△33.3（前期△34.4）となり1.1ポイント前期より改善、採算D Iでは今期△39.4（前期△31.2）で△8.2ポイント悪化、資金繰りD Iでは今期△18.1（前期△21.9）で3.8ポイントの改善となった。

原材料仕入単価は今期 54.9（前期 42.0）と12.9ポイント上昇した。

図1-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



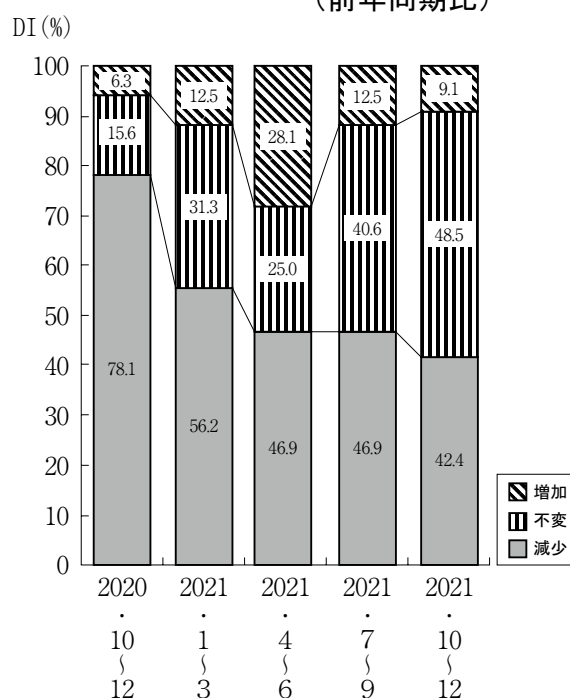
② 主要景況項目別状況

(a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の9.1%（前期12.5%）と△3.4ポイント減少、「減少」と回答した企業も42.4%（前期46.9%）と△4.5ポイント減少した。

その結果、売上（加工）額D Iは△33.3（前期△34.4）となり前期比1.1ポイント改善した。

図1-2 売上（加工）額の状況
(前年同期比)

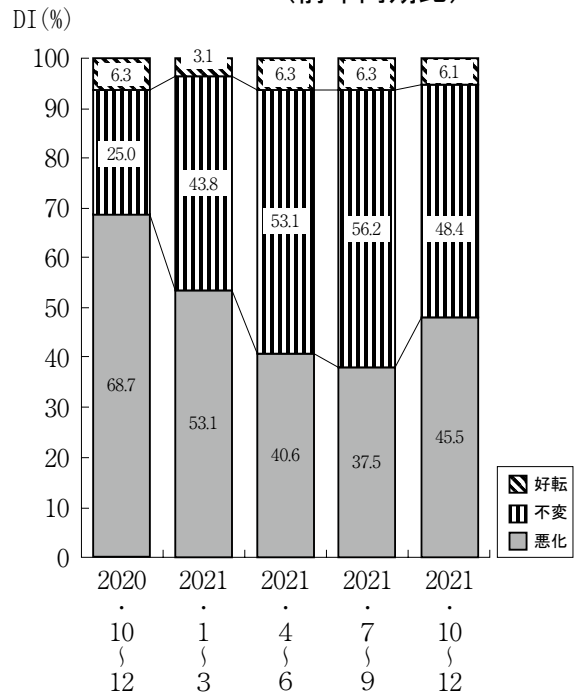


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 6.1% (前期 6.3%) で△0.2%減少、「悪化」と回答した企業は 45.5% (前期 37.5%) で 8.0 ポイント増加した。

その結果、採算DIは△39.4 (前期△31.2) で前期より△8.2 ポイント悪化した。

図 1-3 採算の状況 (前年同期比)



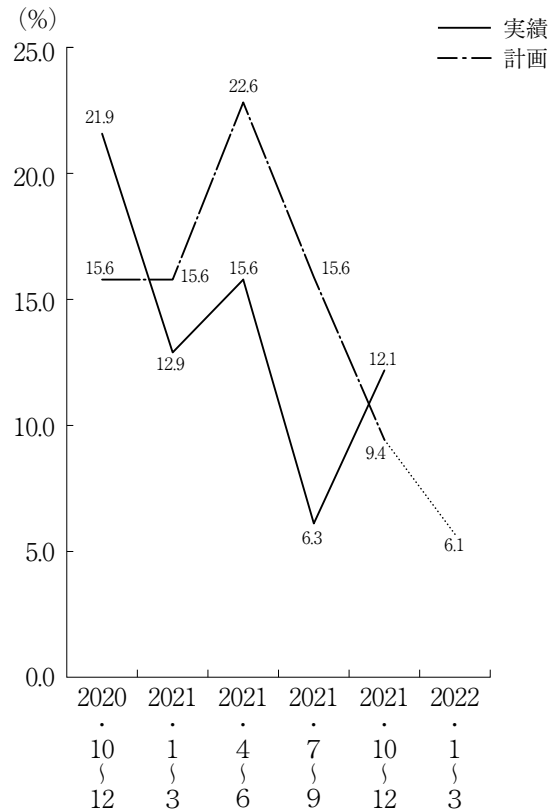
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施(実績)企業割合は全体の 12.1% (前期 6.3%) で、前期と比べ 5.8 ポイント増加した。

その設備内容は、生産設備、付帯施設、OA機器、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 6.1% で、その設備内容は、生産設備となっている。

図 1-4 設備投資の状況



(d) 経営上の問題点

重要度第 1 位の問題点は「原材料価格の上昇」で 26.9%、次いで「需要の停滞」が 19.2%、「従業員の確保難」が 11.5%が続いた。

重要度第 1 位から第 3 位合計では「原材料価格の上昇」と「需要の停滞」が同率 46.2%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「製品(加工)単価の低下、上昇難」と「人件費の増加」が同率 34.6%が続いた。

③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上(加工)額DIでは全国、宮城で改善、東北で若干悪化した。その改善度は全国、宮城の順であった。

採算DIの比較では、全国で改善、東北、宮城で悪化した。その悪化度は宮城、東北の順であった。

本県回答事業者からは「コロナ後の生活観の変化、需要の変化や多様化の影響を見届ける必要あり」(酒造業)や、「経費抑制だけでは限界。いかに効率よく稼働していくかが課題」(縫製業)などのコメントがあった。

図 1-5 経営上の問題点

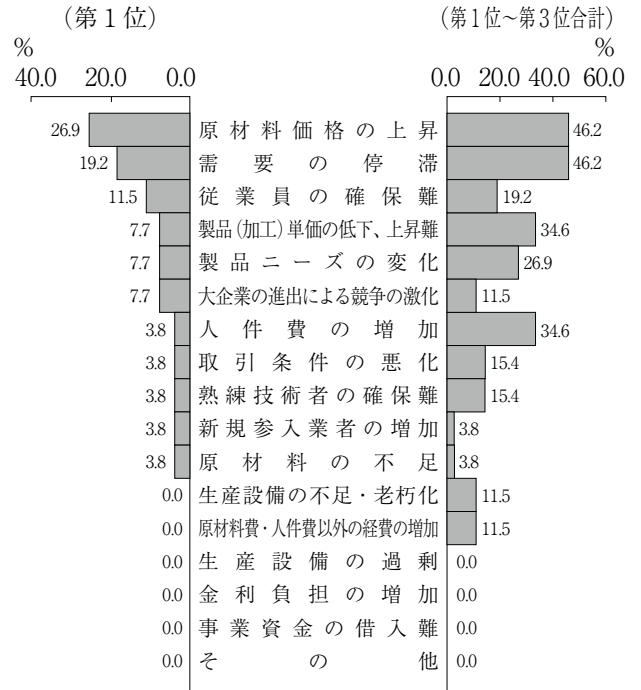
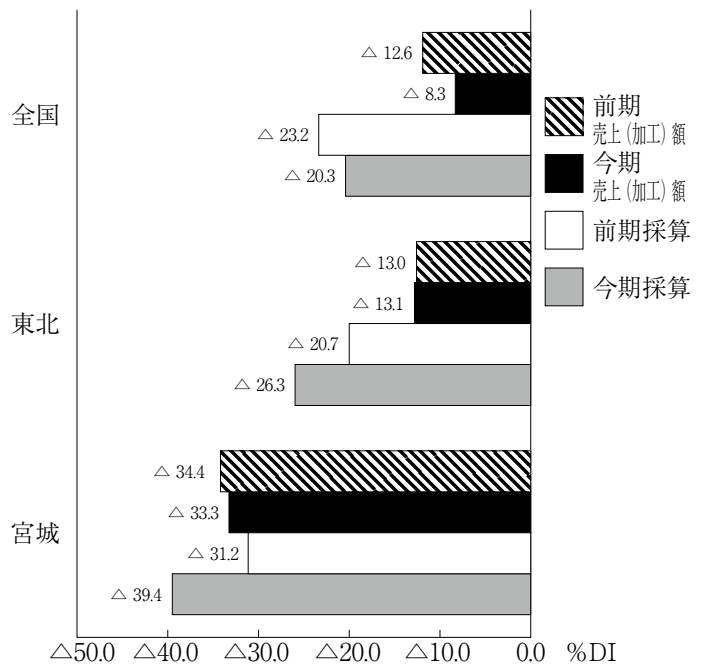


図 1-6 全国東北宮城売上(加工)額・採算比較(前年同期比)

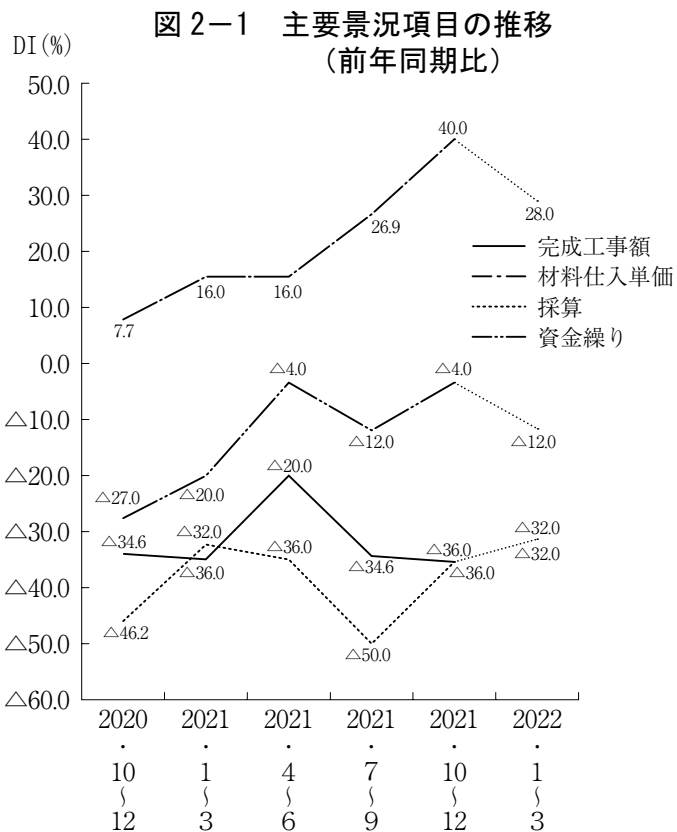


(2) 建設業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△36.0（前期△34.6）と△1.4ポイント悪化、採算D Iでは今期△36.0（前期△50.0）で14.0ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△4.0（前期△12.0）と8.0ポイント改善した。

材料仕入単価D Iは今期 40.0（前期 26.9）と 13.1ポイント上昇した。



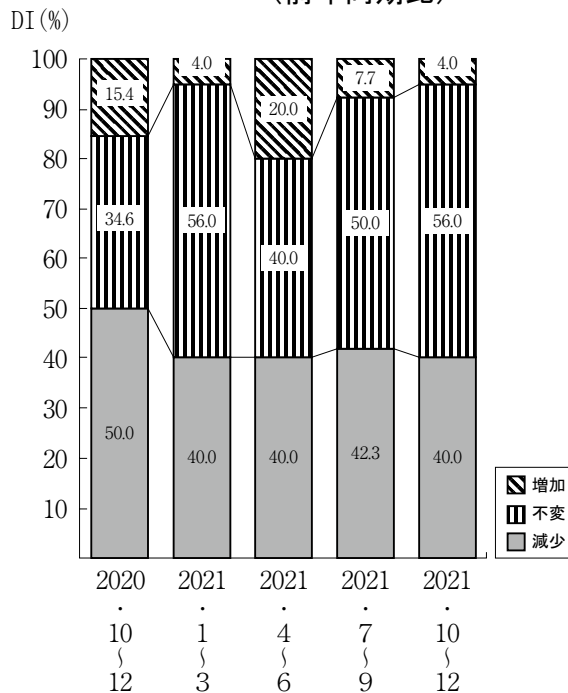
② 主要景況項目別状況

(a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 4.0%（前期 7.7%）で△3.7ポイント減少、「減少」と回答した企業も 40.0%（前期 42.3%）で△2.3ポイント減少した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△36.0（前期△34.6）と△1.4ポイント悪化した。

図 2-2 完成工事額の状況
(前年同期比)

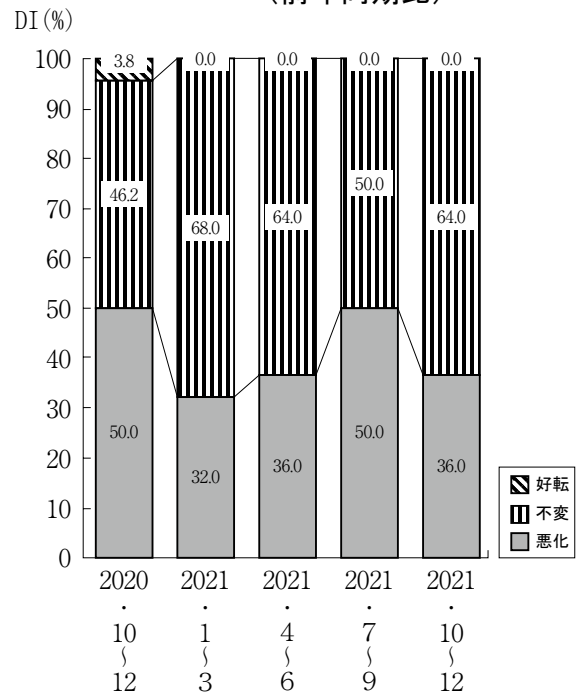


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 0.0% (前期 0.0%) で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の 36.0% (前期 50.0%) で△14.0 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△36.0 (前期△50.0) と前期より 14.0 ポイント改善した。

図 2-3 採算の状況
(前年同期比)

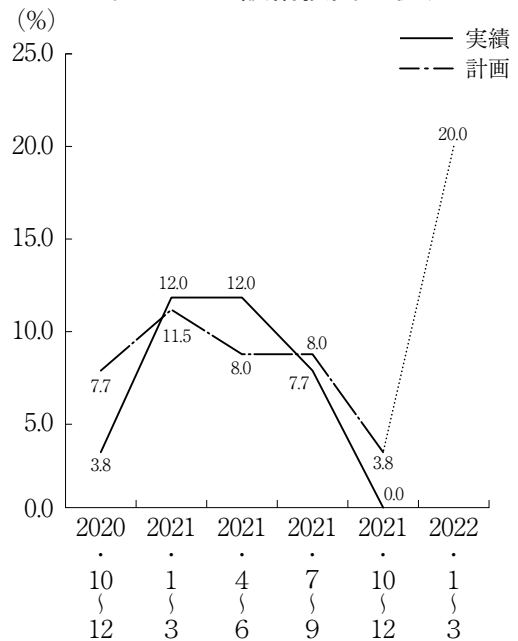


(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 0.0% (前期 7.7%) で、設備投資の実施はなく、前期より△7.7 ポイント減少した。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 20.0%で、その設備内容は、土地、建設機械、車両・運搬具、付帯施設となっている。

図 2-4 設備投資の状況

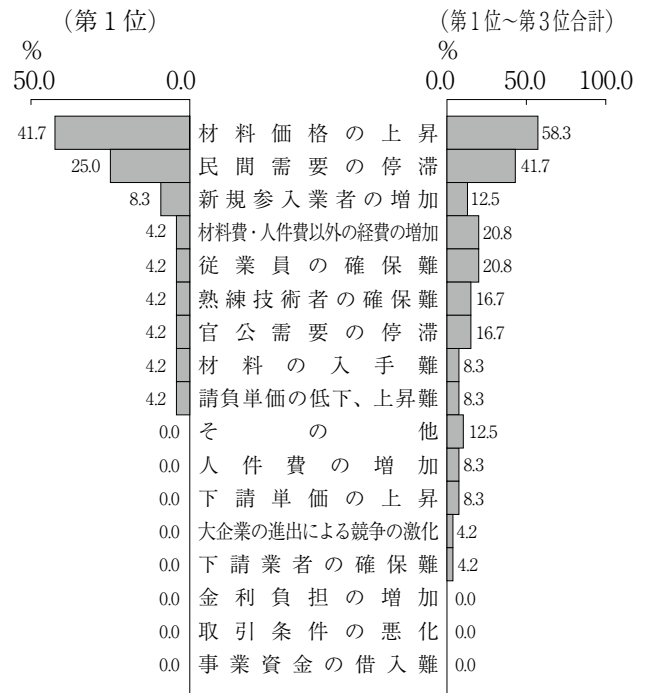


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「材料価格の上昇」が41.7%で、次いで「民間需要の停滞」が25.0%、「新規参入業者の増加」が8.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「材料価格の上昇」が58.3%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「民間需要の停滞」が41.7%、「材料費・人件費以外の経費の増加」と「従業員の確保難」が20.8%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



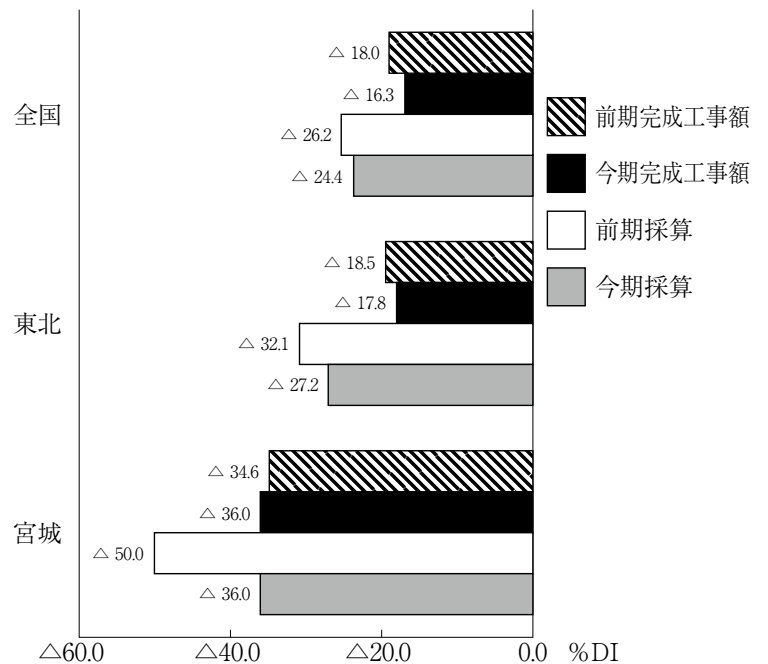
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額D I は全国で改善、東北で若干の改善、宮城で悪化となった。

採算D I の比較では、全地域（全区分）で改善した。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「年末に向けての受注が増加しているが、年明け以降の状況は不確定」や「ウッドショック等で仕入れの納期も価格も安定せず、経費増の状態」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



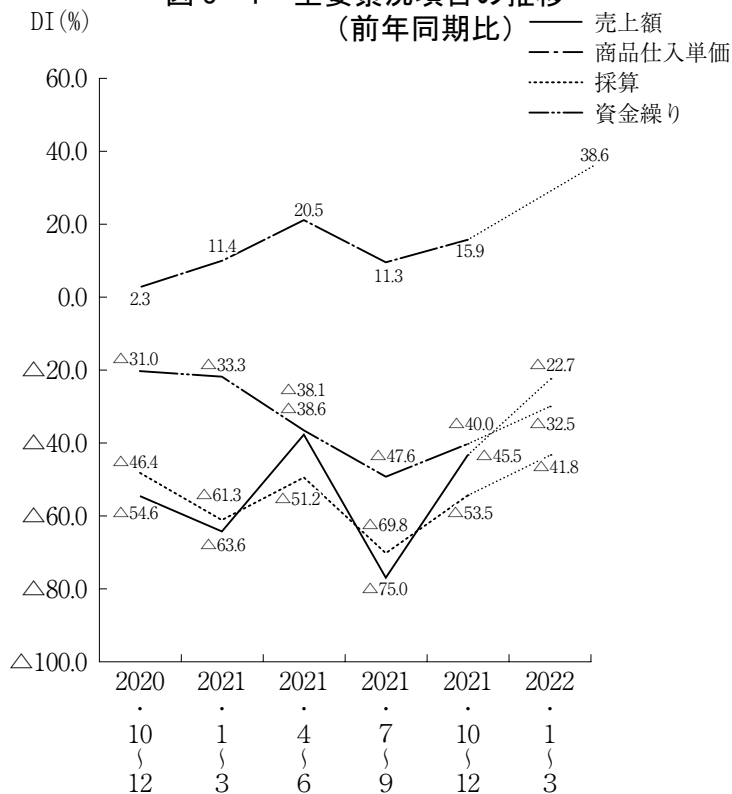
(3) 小売業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△45.5(前期△75.0)と前期より29.5ポイント改善、採算D Iも今期△53.5(前期△69.8)で16.3ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△40.0(前期△47.6)で7.6ポイント改善した。

商品仕入単価D Iは今期15.9(前期11.3)となり、4.6ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



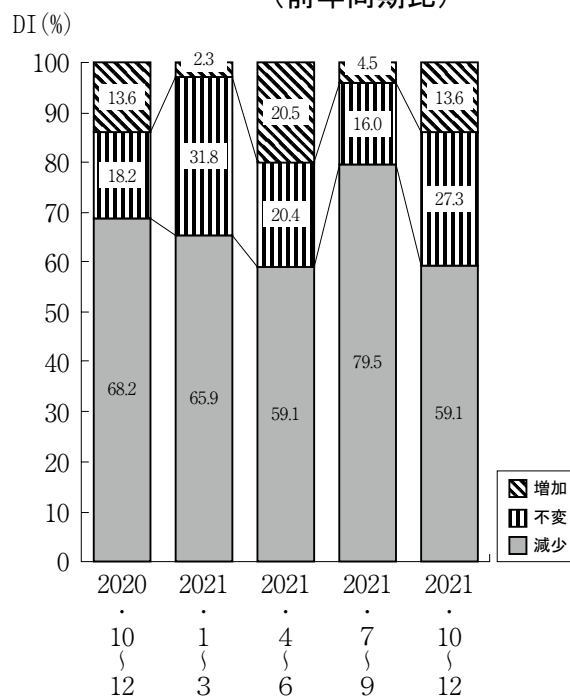
② 主要景況項目別状況

(a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の13.6%(前期4.5%)で9.1ポイント増加、「減少」の回答は、今期は全体の59.1%(前期79.5%)で△20.4ポイント減少した。

その結果、売上額D Iは今期△45.5(前期△75.0)と前期より29.5ポイント改善した。

図3-2 売上額の状況
(前年同期比)

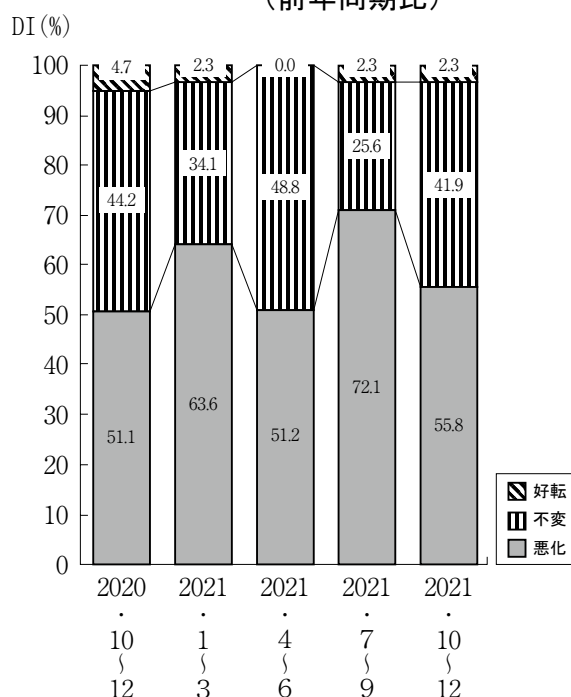


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の2.3%（前期2.3%）と横ばい、「悪化」の回答は、今期は全体の55.8%（前期72.1%）で△16.3ポイント減少した。

その結果、採算D Iは今期△53.5（前期△69.8）で、前期より16.3ポイント改善した。

図3-3 採算の状況
(前年同期比)



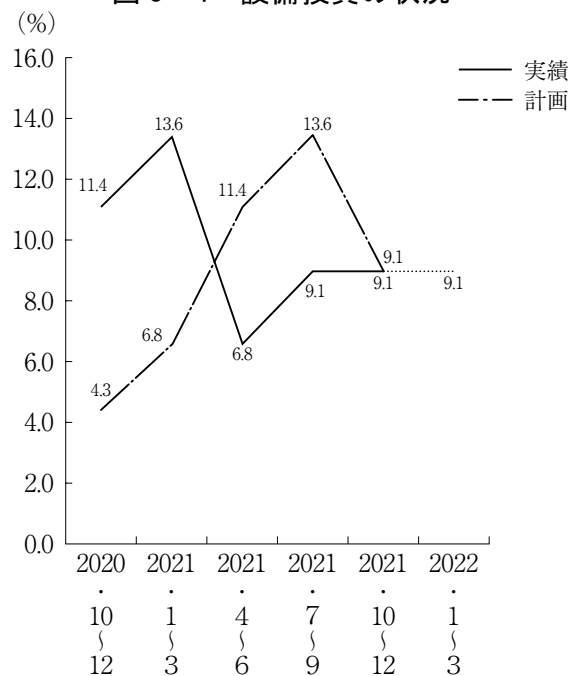
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の9.1%（前期9.1%）で、横ばいであった。

その設備内容は、店舗、販売設備、OA機器、福利厚生施設、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の9.1%で、その設備内容は、店舗、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

図3-4 設備投資の状況

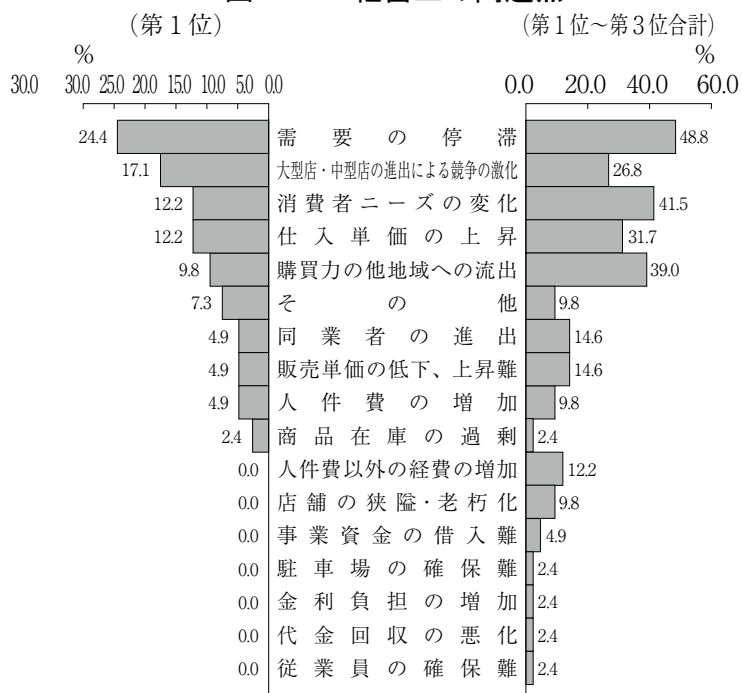


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が24.4%で、次いで「大型店・中型店の進出による競争の激化」が17.1%、「消費者ニーズの変化」と「仕入単価の上昇」が同率12.2%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「需要の停滞」が48.8%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「消費者ニーズの変化」が41.5%、「購買力の他地域への流出」が39.0%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



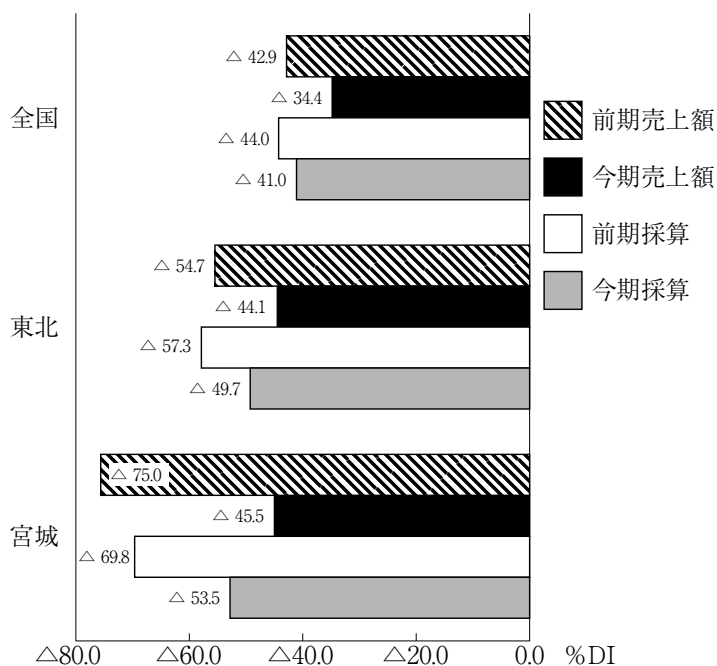
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上D Iは全地域(全区分)で改善した。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

採算D Iでも全地域(全区分)で改善した。その改善度でも宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所から「県補助金の活用等で、来店客数、売り上げ共に向上。今後コロナ感染者が増えないことを期待」(時計等販売)や「調剤医薬品が供給不足のためその確保に奮闘中。調達機会時に多めに確保するため在庫が増加」(薬局)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



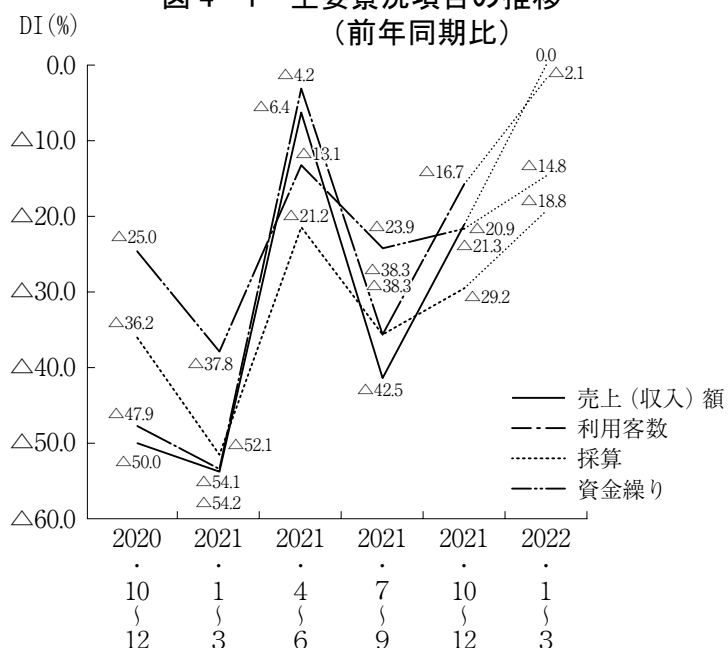
(4) サービス業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△20.9（前期△42.5）で21.6ポイント改善、採算D Iも今期△29.2（前期△38.3）で9.1ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△21.3（前期△23.9）で2.6ポイント改善した。

利用客数D Iも今期△16.7（前期△38.3）で21.6ポイント増加した。

図4-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



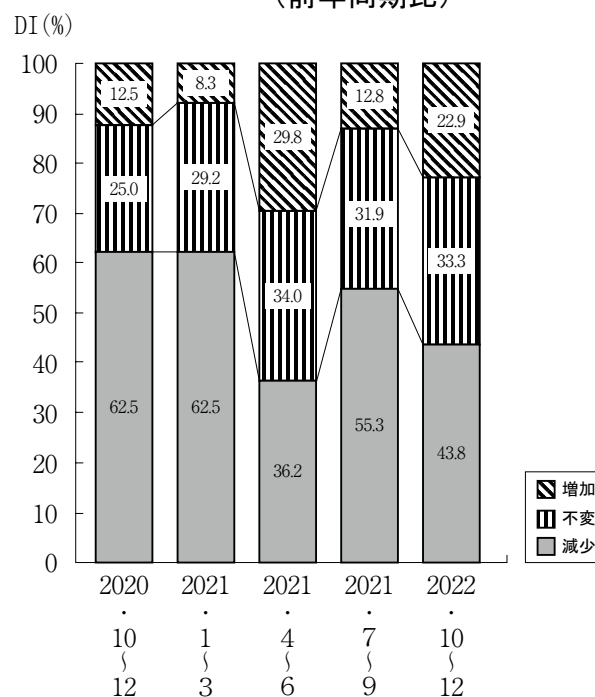
② 主要景況項目別状況

(a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の22.9%（前期12.8%）で前期より10.1ポイント増加、「減少」の回答は今期43.8%（前期55.3%）で△11.5ポイント減少した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△20.9（前期△42.5）で前期より21.6ポイント改善した。

図4-2 売上（収入）額の状況
(前年同期比)

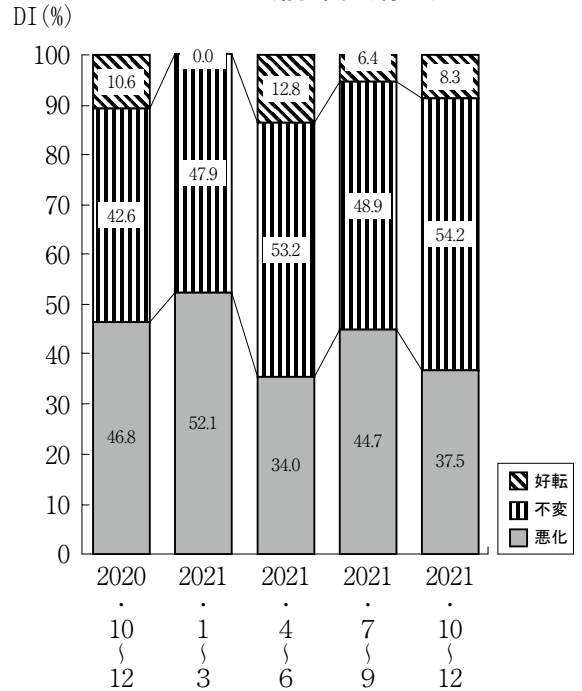


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の8.3%（前期6.4%）で1.9ポイント増加、「悪化」と回答した企業は今期37.5%（前期44.7%）と△7.2ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△29.2（前期△38.3）で前期より9.1ポイント改善した。

図4-3 採算の状況
(前年同期比)



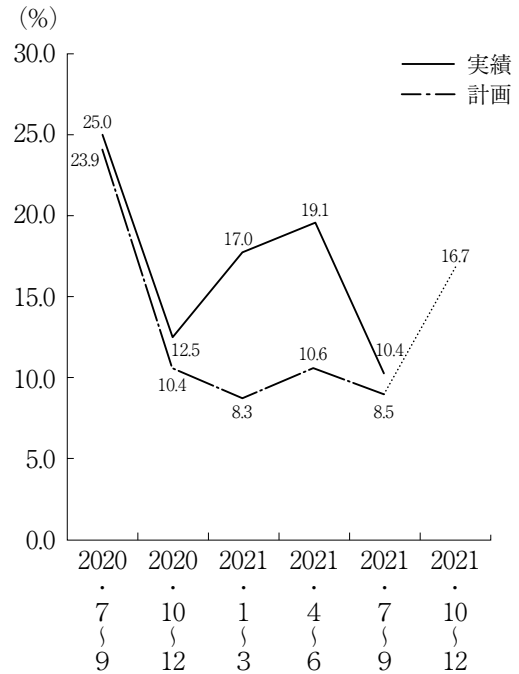
(c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の10.4%（前期19.1%）で、前期より△8.7ポイント減少した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、付帯施設、その他であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の16.7%で、その設備内容は、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、その他となっている。

図4-4 設備投資の状況

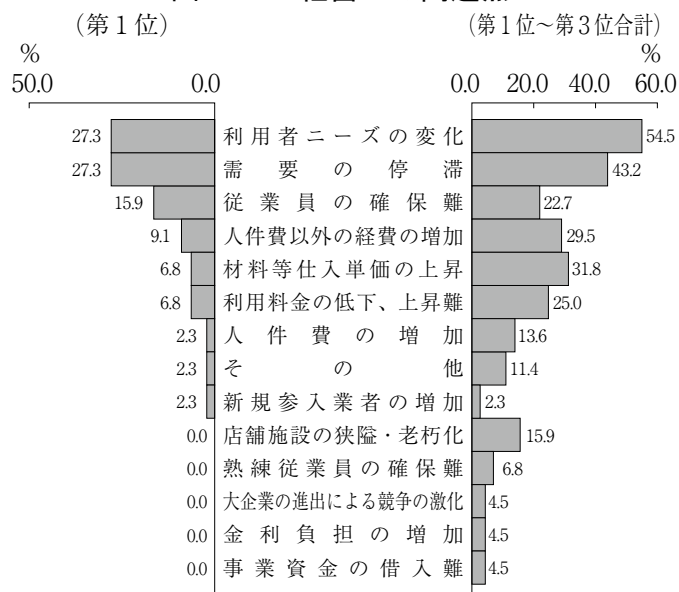


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「利用者ニーズの変化」と「需要の停滞」が同率27.3%で、次いで「従業員の確保難」が15.9%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「利用者ニーズの変化」が54.5%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」が43.2%、「材料等仕入単価の上昇」が31.8%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



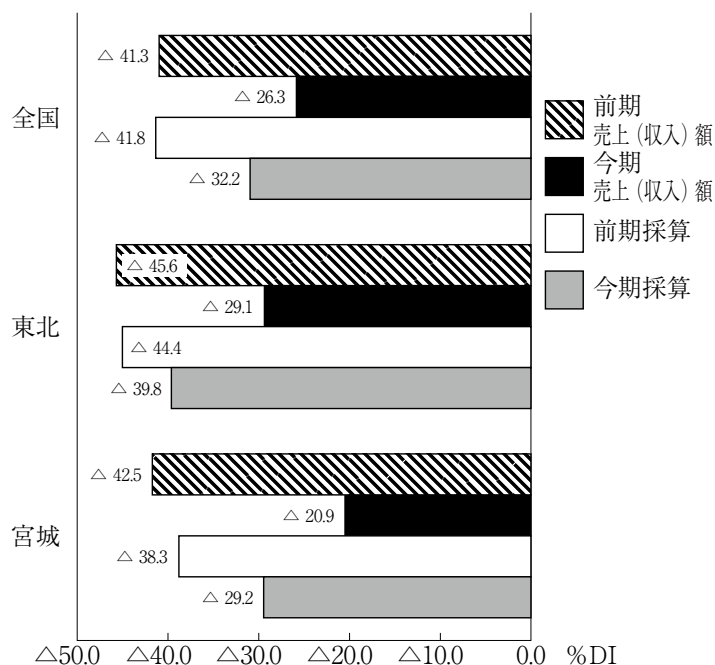
③ 全国・東北ブロックと本県

の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全地域(全区分)で改善した。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIでも全地域(全区分)で改善した。その改善度は全国、宮城、東北の順であった。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)



本県回答事業所からは「県の宿泊キャンペーンで予約が増加。一方でキャンペーン終了後の反動が心配」(宿泊業)や「時短営業も解除となり、通常営業に戻ったが、お客の日頃の生活様式も変わって、宴会等の予約が激減」(飲食業)などのコメントが寄せられた。

